

ISSN 1882-5230

むかわ町立  
穂別博物館館報

第30号

平成24（2012）年度版

むかわ町立穂別博物館

## 目 次

---

沿革	----- (p. 1)
施設の概要	----- (p. 4)
施設平面図	----- (p. 4)
展示活動	----- (p. 5)
広報活動	----- (p. 6)
普及教育活動	----- (p. 7)
収蔵資料概要	----- (p. 10)
資料収集保存活動	----- (p. 10)
調査研究活動ほか	----- (p. 13)
運営	----- (p. 15)

---

当館は、国の公立社会教育施設整備事業及び北海道市町村振興事業の補助を受け建設された。

穂別町立博物館は昭和 50(1975) 年の長頸竜「ホベツアラキリュウ」標本の発見が契機となり建設された。当初は「穂別町郷土資料館」として計画され、建設計画中に「穂別町立博物館」として名称変更された。名称変更後の館活動は「本町で発見される化石（自然史）」の研究・保存・普及と「町の歴史（人文）」の保存・普及を行う二面性を備えた総合博物館としてのものであった。

その後、約 10 年にわたる博物館活動の結果蓄積された自然史資料の重要性と、人文系資料の保存活動に要する作業量にアンバランスを生じ、活動方針の変更が行われた。その基本活動方針は、「穂別地域で産出する古生物（化石）を材料とし『地球と生命の歴史を考える』総合博物館とする」である。ここではその経緯を記録し、今後の活動の充実と強化につとめていきたい。

### I 「建設の目的」と「展示更新」、「名称変更」

#### 〈穂別町郷土資料館建設の目的〉

『本町は、クビナガリュウをはじめデスモスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。穂別町開町 70 年（町制施行 20 年）を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

＜昭和 55(1980) 年 11 月 26 日＞

#### 〈展示更新の基本的考え方〉

『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。

旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見ることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の 1 頁 1 頁であることを理解させる博物館とする。』

＜平成 2(1990) 年 6 月 27 日＞

#### 〈市町村合併による名称変更〉

平成 18(2006) 年 3 月 27 日に穂別町と鶴川町の合併によって「むかわ町」が誕生し、町立博物館である当館の名称は、新町の名称に合わせて変更する必要性が生じた。しかしながら、これまでの実績との継続性、また、登録資料番号（HM-：HOBETSU MUSEUM の略）の維持のため、新名称には「穂別」の文字を残すこととし、新たな名称を「むかわ町立穂別博物館」（英語表記：HOBETSU MUSEUM）とした。

## II 沿革

- \* 本年表において「長頸竜」・「首長竜」・「クビナガリュウ」・「ホベツアラキリュウ」の使い分けは、以下の通り。
  - ・長頸竜：動物分類上の suborder PLESIOSAURIA の和訳として用いている。「蛇頸竜亜目」または「長頸竜亜目」が正式名称。
  - ・首長竜：「発掘調査団」の固有名義として使用。
  - ・クビナガリュウ：長頸竜の通称として使用。
  - ・ホベツアラキリュウ：「穂別町首長竜化石発掘調査団」によって発掘された長頸竜標本の名称。
- \* 名称等は、当時のまま表記してある。

### 昭和 50(1975) 年

- 6月：荒木新太郎氏（穂別町在住）が穂別町字長和において、脊椎動物化石の入った母岩を発見、一部を採集した。

### 昭和 51(1976) 年

- 9月：佐藤昌人指導員（苫小牧青少年センター）・佐藤隆久教諭（穂別町立仁和小学校）が荒木氏発見の脊椎動物化石を長谷川善和主任研究員（国立科学博物館）に鑑定を依頼した。

### 昭和 52(1977) 年

- 2月：長谷川主任研究員の鑑定結果が新聞で報道された。荒木氏発見の脊椎動物化石が白亜紀海棲爬虫類の鱗の一部であると確認された。
- 7月 5-8日：「穂別町首長竜化石発掘調査団」結成、発掘調査。この長頸竜標本を後に「ホベツアラキリュウ」と命名。

### 昭和 53(1978) 年

- 5月：「ホベツアラキリュウ」標本のクリーニング（剖出）作業開始
- 11月：穂別町立郷土資料館 開館（旧・穂別町立さくら保育所施設利用）

### 昭和 54(1979) 年

- 5月：長頸竜化石骨が穂別町指定文化財第2号に指定される。

### 昭和 55(1980) 年

- 10月 16日：「穂別町郷土資料館建設計画検討委員会」発足

### 昭和 56(1981) 年

- 3月 13日：施設の名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更

### 昭和 56(1981) 年

- 7月-12月：博物館建設工事
- 9月 1日：鈴木茂学芸員就任（-昭和60年3月31日）

### 昭和 57(1982) 年

- 1月 16日：長頸竜復元作業開始
- 3月-6月：博物館展示工事
- 7月 20日：博物館開館。一般公開開始（初代館長：今幸太郎教育長兼任）
- 8月 26日：「博物館協議会」発足
- 11月 1日：北海道博物館協会加入
- 12月 19日：長頸竜（ホベツアラキリュウ）復元骨格展示公開
- 12月 19日-1月 23日：特別展（第1回）「よみがえるクビナガリュウ」

### 昭和 58(1983) 年

- 3月 2日：博物館法による登録博物館となる（北博登第28号）

### 昭和 58(1983) 年

- 3月 28日：「博物館協力会」設立
- 4月 1日：日本博物館協会加入
- 4月 28日：菅原康次（第二代）館長就任
- 7月 22日-8月 7日：収蔵資料展（第1回）「地図展」
- 8月 1日：全国科学博物館協議会加入
- 11月 1日-3日：収蔵資料展（第2回）「こけし展」

### 昭和 59(1984) 年

- 2月：村上隆著「よみがえるクビナガリュウ」発刊
- 3月 27日：「穂別町立博物館研究報告」刊行開始
- 6月 14日：第二展示室（町立博物館保存庫）完成
- 11月 1日-4日：収蔵資料展（第3回）「古い写真・古い文書展」
- 12月 1日：桜庭勝美（第三代）館長就任

### 昭和 60(1985) 年

- 3月 30日：「穂別町立博物館館報」刊行開始
- 5月 1日：地徳力学芸員就任（-平成11年3月31日）
- 11月 1日-10日：特別展（第2回）「北海道一億年」

### 昭和 61(1986) 年

- 10月 21日-11月 9日：特別展（第3回）「穂別の自然」

### 昭和 62(1987) 年

- 1月 1日：今幸太郎（第四代）館長就任（教育長兼任）
- 7月 28日-8月 9日：特別展（第4回）「アンモナイトの系図」

### 昭和 63(1988) 年

- 7月 17日：第三展示室（保存庫）完成
- 8月 23日-9月 4日：特別展（第5回）「穂別のカメ化石」
- 10月 6日：今幸太郎（第五代）館長就任（専任）

### 平成元(1989) 年

- 6月 30日：仲谷英夫氏（香川大学助教授）：長頸竜ホベツアラキリュウ標本の記載論文公表
- 7月 18日-8月 20日：特別展（第6回）「穂別のむかし=写真で見る穂別の歴史=」
- 9月 29日-10月 6日：地徳学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣した。

### 平成 2(1990) 年

- 7月 23日：ドラムヘラー市長夫妻（カナダ、アルバータ州）来館
- 8月 18日-9月 16日：特別展（第7回）「戦争と穂別」
- 9月 3日-5日：レイド、M.G. 氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館
- 12月 31日：野田藤雄（第六代）館長就任（教育長兼任）

### 平成 3(1991) 年

- 4月 1日：佐藤稔（第七代）館長就任
- 4月 28日、29日：入館者10万人突破記念事業

### 平成 4(1992) 年

- 2月 1日：展示更新工事開始
- 4月 23日-25日：カリー、P. J. 氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館
- 4月 29日：展示更新完了、一般公開再開

### 平成 6(1994) 年

- 4月 1日：野田藤雄（第八代）館長就任（教育長兼任）
- 4月 1日：川上源太郎学芸員就任（-平成10年3月31日）

### 平成 7(1995) 年

- 7月15日-9月12日:川上学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣、研修。
- 8月12日:かせき学習館完成
- 平成8(1996)年
- 7月27日-28日:96北海道化石サミット開催(穂別町民センター)
- 10月6日:大江美津夫(第九代)館長就任
- 平成9(1997)年
- 7月6日、7月10日-8月31日:クビナガリュウ発掘20周年記念事業パネル展(第8回特別展)
- 平成10(1998)年
- 4月1日:櫻井和彦学芸員就任(-現在)
- 6月11日:星功(第十代)館長就任
- 8月11日-8月31日:特別展(第9回)「地球物語り(地質学普及書の近代史)」
- 平成11(1999)年
- 1月1日:山田正(第十一代)館長就任
- 5月29日:入館者30万人突破記念事業
- 8月1日-8月31日:特別展(第10回)「滄龍の泳いだ海-7000万年前の穂別-」
- 10月5日-11月28日:特別展(第11回)「穂別の自然」
- 平成12(2000)年
- 8月1日-8月31日、9月14日-10月1日:特別展(第12回)「穂別の石-川原の石から見た穂別」
- 9月14日-10月1日:日胆地区博物館等連絡協議会主催移動展「日高・胆振の博物館紹介」
- 平成13(2001)年
- 8月1日-8月25日:特別展(第13回)「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」
- 平成14(2002)年
- 4月28日-5月17日:特別展(第14回)「ツノのある奇妙なカメ-海の穂別からリクガメ化石の発見-」
- 7月1日-21日:特別展(第15回)「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」(再公開)
- 7月20日:開館20周年記念講演・討論会「化石の里(まち)の博物館」
- 7月27日-8月9日:博物館協力会企画展「穂別の化石」
- 8月31日-9月27日:特別展(第16回)「穂別のカメ化石-恐竜時代のウミガメとリクガメ」
- 平成15(2003)年
- 1月1日:清川博之(第十二代)館長就任
- 7月20日-8月31日:特別展(第17回)「穂別を泳いだモササウルス」
- 11月1日-1月31日:特別展(第18回)「虫とくらし」(協力:北海道開拓記念館)
- 平成16(2004)年
- 7月17日-8月31日:特別展(第19回)「クジラとデスマスチルス-穂別を泳いだ哺乳類-」
- 10月30日-12月12日:特別展(第20回)「火山と地震-佐々保雄北海道大学名誉教授一括資料展」
- 平成17(2005)年
- 7月16日-8月31日:特別展(第21回)「ホベツアラキリュウ発見30年」
- 10月29日-12月18日:特別展(第22回)「絵はがきは語る-旅の思い出・昔のまちなみ-」(協力:北海道開拓記念館)
- 平成18(2006)年
- 3月27日:「むかわ町」誕生(穂別町・鶴川町の合併による)、当館の名称を「むかわ町立穂別博物館」と改称
- 3月27日:本多廣行(第十三代)館長就任
- 7月15日-9月3日:特別展(第23回)「貝が語るむかわの一億年」
- 10月28日-12月17日:特別展(第24回)「むかわの自然-山と干潟の生き物たち-」
- 平成19(2007)年
- 4月1日:柏恵一(第十四代)館長就任
- 7月21日-9月2日:特別展(第25回)「むかわの一億年-化石や石が語る五つの海」
- 11月3日-12月2日:特別展(第26回)「鉱業のまち、ほべつ-穂別の炭鉱と鉱山の歴史-」
- 平成20(2008)年
- 7月19日-8月31日:特別展(第27回)「海へ帰った動物たち-穂別のセキツイ動物の秘密-」
- 11月1日-12月7日:特別展(第28回)「穂別D遺跡-一万年前の人々のくらし-」
- 平成21(2009)年
- 7月18日-9月30日:特別展(第29回)「穂別海竜博物館-穂別を泳いでいた海竜たち-」
- 平成22(2010)年
- 2月6日-5月30日:特別展(第30回)「北海道アンモナイト図鑑」
- 7月17日-10月31日:特別展(第31回)「白亜紀ウミガメ化石展」
- 平成23(2011)年
- 3月19日-5月29日:特別展(第32回)「白亜紀巨大二枚貝 イノセラムス・ホベツエンシス展」
- 4月1日:今莊光男(第十五代)館長就任
- 7月23日~10月30日:特別展(第33回)「歯のかたち-クビナガリュウ vs モササウルス-」
- 12月3日:「モササウルス国際シンポジウム」
- 平成24(2012)年
- 4月-平成25(2013)年3月:穂別産恐竜化石発掘調査書類申請準備
- 12月25日-平成25(2013)年3月6日:むかわ町モササウルス類化石複製品作成委託

## 施設の概要

### 【位 置】

北海道勇払郡むかわ町穂別 80 番地 6

平成 21 年度：展示映像機器整備

「太古の海－クビナガリュウからのメッセージ」

事業費：4,116,000 円（消費税込）

### 【町立博物館】

#### 〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：1,100m<sup>2</sup>

常設展示室	372.88m <sup>2</sup>
特別展示室	99.08m <sup>2</sup>
収蔵庫	86.56m <sup>2</sup>
事務室	40.50m <sup>2</sup>
研究室	31.50m <sup>2</sup>
整理室	29.92m <sup>2</sup>
学習展示室	184.75m <sup>2</sup>
書庫	35.05m <sup>2</sup>
共用部門	219.76m <sup>2</sup>

#### 〔工 期〕

昭和 56 年度～ 57 年度

#### 〔総事業費〕

362,165,000 円

#### 〔展示更新〕

平成 3 年度～平成 4 年度：博物館展示替え工事

事業費：99,910,000 円（消費税込）

平成 5 年度：マルチスライドイメージソフト制作

事業費：6,890,700 円（消費税込）

### 【かせき学習館】

#### 〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：325.89m<sup>2</sup>

事務室	56.70m <sup>2</sup>
作業室	56.70m <sup>2</sup>
書庫	14.04m <sup>2</sup>
レプリカ室	12.15m <sup>2</sup>
処 理 室	12.15m <sup>2</sup>
展示物保管庫	162.00m <sup>2</sup>
共用部門	12.15m <sup>2</sup>

#### 〔工 期〕

平成 7 年度

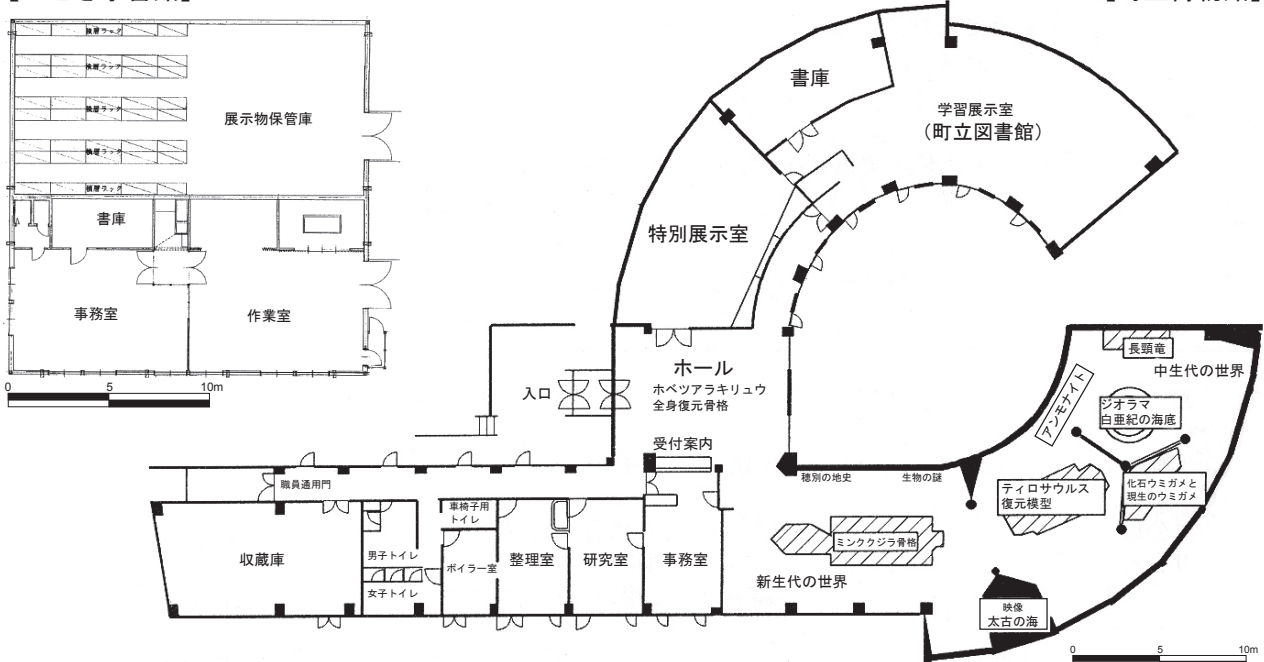
#### 〔総事業費〕

57,092,900 円（消費税込み）

## 施設平面図

### 【かせき学習館】

### 【町立博物館】



## 展示活動

### I 常設展示

主にむかわ町穂別地区から産出した動物化石を中心に、地質・化石資料やその復元模型を展示している。

#### 【常設展示の変更】

- 4/14 アンモナイトコーナーの展示更新
- 7/11-12 白亜紀魚類・ウミガメ・モササウルスコーナーの一部手直し
- 12/6 クジラ化石 (HMG-1604) の追加
- 3/7 コダイアマモ (HMG-1624) の追加
- 3/14 タナベセラス *Tanabeceras yezoense* (HMG-1600, HMG-1601) の追加
- 3/21 長頸竜寺下標本 (HMG-1591) の追加
- 3/29 長頸竜化石・魚類化石コーナーの移設

#### 【常設展示資料】

種 別		分 類		点 数			
化 石	中生代	脊椎動物	魚類	10	234		
			爬虫類 (長頸竜 13 <sup>**</sup> 、モササウルス 12 <sup>**</sup> 、カメ 7、他 2)			34	
		軟体動物	頭足類 103、腹足類 9、斧足類 45、掘足類 1			158	
		その他動物	節足動物 7、棘皮動物 6、刺胞動物 3			16	
		植物				14	
	生痕			2			
	新生代	脊椎動物	魚類	4		92	
			哺乳類 (クジラ 9、束柱類 2 <sup>**</sup> 、他 9 <sup>**</sup> )				20
		軟体動物	腹足類 25、斧足類 27、掘足類 4				56
		その他動物	節足動物 3、棘皮動物 1				4
植物				8			
現生生物	脊椎動物	爬虫類 (カメ)	3	19			
		哺乳類 (クジラ 5、他 3)			8		
	軟体動物	頭足類 2			2		
	その他動物	節足動物 1、棘皮動物 2、刺胞動物 2			5		
	植物				1		
岩石・鉱物				29			
復元模型	脊椎動物	爬虫類 3 (長頸竜 1、モササウルス 1、ウミガメ 1)、哺乳類 1		4			
その他	その他模型 3、映像 4		7				
合 計				385			

(2013年3月31日現在) ※レプリカ含む

### II 特別展示

平成24年度はミニ展示を実施 (「普及教育活動」を参照)。



### Ⅲ 年間入館者数

(単位：人)

分類	平成20年度 (2008)	平成21年度 (2009)	平成22年度 (2010)	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)
個人	一般	6,661	6,225	6,295	5,853
	学生	3,106	2,709	2,727	2,415
団体	一般	322	524	450	669
	学生	764	784	715	1,045
計	9,969	10,242	10,187	9,982	9,116
幼児	1,574	1,373	1,537	1,508	1,375
合計	11,543	11,615	11,724	11,490	10,491

個人：割引入館者（穂別地球体験館との共通利用割引）と無料入館者（特定入館日、減免等）を含む。

団体：10名以上、一般：高校生より上、学生：小学生～高校生、幼児：小学生未満（無料）

### 広報活動

#### 【ホッピーだより（博物館広報紙）】

A4版両面。博物館からのお知らせ、行事予定を掲載。ホームページで公開し、町内の公共施設や学校等へ配布。

- 329号<平成24(2012)年4月>：「化石採集会のお知らせ／アンモナイトの展示変更の紹介」
- 330号<平成24(2012)年5月>：「平成23年度の寄贈資料／穂別の化石紹介③メソダーモケリス」
- 331号<平成24(2012)年6月>：「2012年の化石体験コーナーのお知らせ／穂別の化石紹介④アノマロケリス」
- 332号<平成24(2012)年7月>：「穂別博物館立体図鑑／新規展示の紹介（海棲爬虫類の歯）」
- 333号<平成24(2012)年8月>：「恐竜について①恐竜とは？／博物館収蔵資料の紹介⑤翼竜」
- 334号<平成24(2012)年9月>：「恐竜について②恐竜の骨格の特徴／恐竜について③恐竜の主なグループ」
- 335号<平成24(2012)年10月>：「恐竜について④日本の恐竜化石」
- 336号<平成24(2012)年11月>：「穂別博物館収蔵の標本が国際誌に掲載」
- 337号<平成24(2012)年12月>：「恐竜について⑤北海道の恐竜化石／博物館収蔵資料の紹介⑥モササウルス類ティロサウルス？」
- 338号<平成25(2013)年1月>：「2012年の調査研究の紹介（外部利用）／博物館収蔵資料の紹介⑦モササウルス・プリズマティクス」
- 339号<平成25(2013)年2月>：「展示資料を追加」
- 340号<平成25(2013)年3月>：「モササウルス第10標本のレプリカ製作／いのせらたん学会デビュー」

#### 【博物館ホームページ】

行事予定を中心に、内容を随時更新している。

<http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>

#### 【新聞等掲載】

##### <北海道新聞社>

##### 【苫小牧圏】「とまにち博物誌」

平成24(2012)年5月25日：「過去の生物の証 化石 - 未来測る手がかりに -」

平成24(2012)年10月26日：「穂別のメタセコイヤ - 生きた化石 街路樹に -」

平成25(2013)年3月8日：「穂別で最初の鉱物資源開発 - 道内で初の石油精製 -」

##### 【苫小牧圏】年始企画「地域の魅力再発見」

平成25(2013)年1月11日（第5回）「迫力満点 太古の世界」

##### 【札幌・石狩圏】「みんなでサイエンス」

平成24(2012)年8月30日（第21回）「北の白亜紀 クビナガリュウ何を食べた？」

##### 【教育欄・北海道版】「ほっかいどうサイエンス」

平成24(2012)年8月27日（第17回）「よみがえったモササウルス」

##### <読売新聞社>

##### 【北海道版】「北のミュージアム紀行」

平成25(2013)年1月27日（第30回）「むかわ町立穂別博物館」

#### 【テレビ放送】

##### <NHK>

平成24(2012)年4月26日 NHK 総合 18:10 - 「あのみちこのまち」（ネットワークニュース北海道）

#### 【広告等掲載】

【北海道じゃらん】（リクルート北海道じゃらん）

平成24(2012)年：5月号、8月号



## 普及教育活動

※利用者の区分は以下の通り

幼：小学生未満、小：小学生～高校生、大：一般

### I 博物館事業（博物館の主催・共催事業）

#### 【ミニ展示】

「モササウルス新規資料展 2012」

第1回：平成24(2012)年4月28日-5月20日

第2回：平成24(2012)年7月14日-8月26日

穂別博物館モササウルス第10標本について研究の進展を紹介。

#### 【町民文化祭】

(1) 第56回穂別地区町民文化祭へ出展

「穂別博物館立体図鑑」：平成24年10月19-21日。  
当館収蔵資料の石膏模型とその解説シート31種類、および、「海棲爬虫類の歯の機能の展示」の紹介。

#### 【化石採集会】

学芸員による展示案内の後、白亜紀の地層が露出している場所で化石を採集する。各回定員20名。事前申込・抽選で選出した。第1・3回は稲里シュッタの沢、第2・4回は安住幌去川支流で実施した。

観覧料（「運営」を参照）と体験参加料（一人100円）を徴収。終了後に希望者を対象に自分で見つけた化石のクリーニング体験を実施した。

参加人数計：49人

第1回＜平成24(2012)年6月2日＞（小3・大5）

第2回＜平成24(2012)年6月23日＞（小6・大5）

第3回＜平成24(2012)年9月1日＞（小7・大8）

第4回＜平成24(2012)年9月29日＞（小7・大8）

#### 【化石体験】

観覧料のみで以下のメニューを体験できる（「アンモナイト立体図鑑は有料」）。それぞれのメニューを日替わりで実施した。各体験とも、会場は「かせき学習館」で、時間は10:00-16:00（最終受付15:30）。

＜実施内容＞

化石クリーニング体験：ハンマーとタガネを使って、石の中から化石を取り出す。

化石レプリカづくり：シリコン型に石こうを流し込み、アンモナイトのレプリカ（石こう模型）を作成する。

アンモナイト立体図鑑づくり：アンモナイトの石こ

う模型づくり。全31種類で、オリジナル解説シートがもらえる。有料（1個100円）で実施。「化石体験コーナー」の化石レプリカづくりと同時開催および化石採集会の参加者で希望者に対して実施した。

レプリカアクセサリーづくり：自由樹脂プラスチックを用いたアクセサリーの作成。アンモナイトストラップかサンダルアクセサリーのどちらかが作成できる。

＜参加者数＞

参加者総数：のべ336人。

化石クリーニング体験：25人。

化石レプリカづくり：167人。

アンモナイト立体図鑑：38人（73個）。

レプリカアクセサリーづくり：106人。

＜開催日程＞

開催日数：16日間

①化石レプリカづくり（8日間）：平成24(2012)年7月14日、15日、21日、22日、28日、29日、8月4日、5日。

②レプリカアクセサリーづくり（4日間）：平成24(2012)年8月11日、12日、18日、19日。

③化石クリーニング体験（4日間）：平成24(2012)年11月3日、10日、17日、24日。

#### 【ワークシート等】

来館者を対象に、博物館展示室に各種シートを設置。自由参加のため、数は確認していない。

①博物館探検シート：クイズ形式で、展示室の化石について学ぶ（全4枚）。景品はオリジナルシール。

②化石が語る絵物語：穂別の化石を紹介する、小さな塗り絵シート（2種類）。

③ミニジオラマ（クビナガリュウの海）：着色・切り抜いて、自分で作成するジオラマの型紙。穂別の化石が題材。

## II その他事業

#### 【運営協力等】

平成24(2012)年7月7日～8月26日：北海道新聞社  
主催「黄河大恐竜展」＜展示協力＞（札幌市  
北翔クロテック月寒ドーム）

平成24(2012)年7月6日～10月8日：北海道開拓記

念館第 69 回特別展「アンモナイト展」＜展示協力＞（札幌市 北海道開拓記念館）

#### 【普及講演会】

平成 24(2012) 年 9 月 16 日：北海道開拓記念館 アンモナイト展関連行事「北海道のアンモナイト」（参加者 88 人）：西村普及員対応

#### 【出前講座】

平成 24(2012) 年 8 月 10 日：小樽市総合博物館「化石講座」（化石の話、化石クリーニング、レプリカづくり）（小 30・大 25）：櫻井学芸員対応

### Ⅲ 団体等の利用

学芸員等が対応したものは＜＞で内容を示した

#### Ⅲ - 1 町内団体等の利用

##### 【町内学校・教育関係団体】

平成 24(2012) 年 5 月

24 日：町教研（理科）＜展示見学・中村記念館見学＞（大 7）

平成 24(2012) 年 6 月

2 日：さくら保育園（幼 9・大 2）

6 日：穂別小学校 4 年生（総合の時間）＜展示見学＞（小 25・大 3）

12 日 - 14 日：穂別高校インターンシップ（小 2）

22 日：穂別小学校 4 年生（総合の時間）＜化石採集＞（小 25・大 3）

27 日：穂別小学校 4 年生（総合の時間）＜化石クリーニング・レプリカづくり＞（小 25・大 3）  
：穂別小学校 2 年生（生活科）＜展示見学＞（小 16・大 2）

平成 24(2012) 年 9 月

7 日：仁和小学校 5・6 年生（小 2・大 1）

12 日：さくら保育園（幼 20・大 3）

15 日：さくら保育園（幼 7・大 3）

平成 24(2012) 年 10 月

18 日：穂別高校 1 年生（総合学習）＜化石の話・展示見学・化石採集＞（小 16・大 2）

27 日：穂別高校穂星寮見学会（小 2・大 3）

平成 24(2012) 年 11 月

27 日：鶴川中央小学校 2 年生（小 48・大 5）

平成 25(2013) 年 2 月

6 日：鶴川中央小学校 3 年生＜展示見学・質問対応＞（小 28・大 2）

##### 【町内各種団体】

平成 24(2012) 年 8 月

17 日：グリーンウッドワーク in 穂別（木育）＜見学＞（大 5）

平成 24(2012) 年 9 月

9 日：むかわ町文化財審議会委員視察＜展示見学、学習館収蔵庫・中村記念館見学＞（大 9）

平成 25(2013) 年 3 月

7 日：とまこまい広域農業共同組合外国人研修生＜展示見学＞（大 15）

### Ⅲ - 2 町外団体の利用

#### 【町外学校・教育関係団体】

平成 24(2012) 年 5 月

19 日: 恵庭子ども塾(恵庭市教育委員会) (小 20・大 7)

平成 24(2012) 年 6 月

1 日: 小樽市総合博物館職員<事業打合せ> (大 3)

12 日: 化石研究会 見学旅行<展示見学> (大 7)

13 日: 北海道開拓の村ボランティア研修旅行<展示見学> (大 38)

14 日: 北海道開拓の村ボランティア研修旅行<展示見学> (大 37)

15 日: 北海道開拓の村ボランティア研修旅行<展示見学> (大 64)

21 日: 北海道長沼高校 (小 76・大 5)

26 日: 平取養護学校<展示見学> (小 9・大 8)

平成 24(2012) 年 7 月

4 日: 胆振管内高等学校初任者研修<展示見学> (大 6)

6 日: 日高町立日高小学校 1 年 (小 10・大 3)

13 日: 苫小牧市立清水小学校 5 年 (小 25・大 1)

平成 24(2012) 年 8 月

14 日: 北海道教育庁文化財調査グループ担当者・厚真町教育委員会職員<展示見学> (大 6)

平成 24(2012) 年 9 月

13 日: 白老町立竹浦小学校 (小 7・大 3)

14 日: 厚真中央小学校 5 年<展示見学> (小 15・大 2)  
: 日高町立日高保育所 (幼 12・大 3)

平成 24(2012) 年 10 月

3 日: 富川ひばり幼稚園 (幼 49・大 3)

4 日: 富川ひばり幼稚園 (幼 45・大 3)

5 日: 富川ひばり幼稚園 (幼 36・大 3)

6 日: NPO 法人ナチュラルス (小 23・大 4)

16 日: 千歳市学校適応教室オアシス (小 12・大 4)

23 日: 上厚真小学校 1 年<展示見学> (小 16・大 2)

28 日: 恵庭子ども塾(恵庭市教育委員会) (小 12・大 6)

平成 25(2013) 年 1 月

10 日: 丘珠わんぱくクラブ (小 65・大 8)

#### 【町外各種団体】

平成 24(2012) 年 4 月

8 日: NHK 室蘭放送局記者<展示見学> (大 2)

平成 24(2012) 年 5 月

15 日: 原森林社 (大 21)

16 日: 厚真老人会福寿会 (大 32)

平成 24(2012) 年 7 月

4 日: 苫小牧保護司会 (大 15)

13 日: むかわ町交流人口推進穂別協議会(小 25・大 1)

22 日: 近畿日本ツーリスト (小 3・大 7)

25 日: 近畿日本ツーリスト (幼 3・小 6・大 12)

29 日: 近畿日本ツーリスト (小 8・大 17)

31 日: 近畿日本ツーリスト (小 10・大 14)

平成 24(2012) 年 8 月

1 日: 近畿日本ツーリスト (小 5・大 11)

: ルーテル子どもキャンプ (小 25・大 17)

2 日: 近畿日本ツーリスト (幼 3・小 7・大 17)

3 日: 近畿日本ツーリスト (幼 1・小 6・大 13)

5 日: 近畿日本ツーリスト (幼 1・小 14・大 21)

: 二風谷アイヌ語教室 (小 14・大 6)

: 福島キッズ (小 10・大 1)

6 日: 近畿日本ツーリスト (幼 1・小 10・大 20)

7 日: 福島キッズ (小 6・大 1)

: 近畿日本ツーリスト (小 12・大 17)

: 岩見沢市花と緑の少年団 (小 17・大 5)

8 日: 近畿日本ツーリスト (幼 1・小 3・大 4)

9 日: 近畿日本ツーリスト (幼 1・小 10・大 13)

14 日: 近畿日本ツーリスト (小 9・大 14)

15 日: 近畿日本ツーリスト (幼 3・小 13・大 18)

16 日: 近畿日本ツーリスト (幼 1・小 5・大 8)

17 日: 木育事業担当者<展示見学> (大 6・幼 1)

: 近畿日本ツーリスト (幼 1・小 7・大 11)

20 日: 近畿日本ツーリスト (幼 1・小 9・大 15)

22 日: 近畿日本ツーリスト (幼 1・小 7・大 9)

23 日: 近畿日本ツーリスト (幼 1・小 5・大 7)

25 日: 「魅力ある町づくりセミナー」講師ほか<展示見学> (大 6)

26 日: 近畿日本ツーリスト (小 16・大 23)

平成 24(2012) 年 9 月

2 日: 近畿日本ツーリスト (大 11)

12 日: 札幌西間税会<展示見学> (大 36)

13 日: 北海道胆振総合振興局森林室管理課<展示見学> (大 3)

28 日: あさひ親睦会 (大 29)

29 日: 苫小牧市桜坂町町内会 (幼 1・小 12・大 3)

平成 24(2012) 年 10 月

3 日: 江別市大麻北栄クラブ (大 21)

平成 24(2012) 年 11 月

13 日: 第 10 民児協 (大 10)

20 日: 北海道胆振総合振興局森林室<見学> (大 11)

## 収蔵資料概要（登録資料）

【自然史系登録資料（HMG）】（地質・化石資料） 1,610点  
【自然系登録資料（HMB）】（現生動植物資料） 167点  
【人文系登録資料（HMC）】（民俗・歴史資料） 3,831点

計 5,608点（2013.3.31.現在）

【町指定文化財】 HMG-1「ホベツアラキリュウ化石骨」：むかわ町指定文化財登録番号第3号

## 資料収集保存活動

### I 新規受入資料

#### I-1 寄贈

受入番号：寄贈資料／点数／寄贈者名（敬称略）  
（千）：千歳化石会

#### 【自然史系資料】（32件・86点）

2012-001：化石含有ノジュール／1／服部義幸（千）  
2012-002：アンモナイト／1／西村智弘（当館）  
2012-003：長頸竜化石／1／寺下明広（札幌市）  
2012-005：岩石標本／1／小山タエコ（むかわ町）  
2012-007：アンモナイト／1／大和治生（札幌市）  
2012-008：アンモナイト／1／大和治生  
2012-009：アンモナイト／1／大和治生  
2012-010：アンモナイト／1／西村智弘  
2012-011：アンモナイト／1／大和治生  
2012-013：アンモナイト／3／高石邦彦（道有林）  
2012-014：貝化石含有岩石／1／東信夫（むかわ町）  
2012-017：化石含有ノジュール／1／松田敏昭（札幌市）  
2012-018：アンモナイト／1／大和治生  
2012-019：アンモナイト／1／大和治生  
2012-020：アンモナイト／1／大和治生  
2012-021：イノセラムス／1／大和治生  
2012-022：アンモナイト／1／大和治生  
2012-023：アンモナイト／1／伊豆倉正隆（札幌市）  
2012-024：アンモナイト／1／伊豆倉正隆  
2012-025：アンモナイト／1／小山内年昭（岩見沢市）  
2012-026：アンモナイト／1／小山内年昭  
2012-027：オルビトリナ石灰岩／1／小山内年昭  
2012-028：厚歯二枚貝含有オルビトリナ石灰岩／1／  
小山内年昭  
2012-029：アンモナイト／1／大和治生  
2012-030：アンモナイト／1／大和治生  
2012-031：歯化石（魚？）／1／大和治生  
2012-032：アンモナイト／1／岡島孝義（三笠市）

2012-034：アンモナイト・イノセラムス／40／守山  
隆雄（苫小牧市）

2012-036：サメ椎骨含有岩石／1／小山内年昭

2012-038：脊椎動物化石／1／嶋原崇之（札幌市）

2012-039：アンモナイト・イノセラムス／14／増田  
進（東京都）・佐藤たまき（東京学芸大学）・寺下明広  
（札幌市）・田原健太郎（東京都）

2012-040：アンモナイト／1／伊豆倉正隆

#### 【自然系資料】（1件・7点）

2012-043：コウイカ甲／7／森木和則（札幌市）

#### 【人文系資料】（2件・19点）

2012-015：土器・石器片等／18／種田一義（むかわ町）

2012-042：石器／1／中村敏子（むかわ町）

#### 【その他】（1件・609点）

2012-006：古生物関連文献／609／加藤誠（札幌市）

#### I-2 採集

#### 【自然史系資料】（3件・3点）

2012-016：脊椎動物化石／1／穂別博物館

2012-033：珪化木／1／穂別博物館

2012-035：アンモナイト／1／穂別博物館

#### 【自然系資料】（0件・0点）

#### 【人文系資料】（0件・0点）

#### I-3 交換

#### 【自然史系資料】（1件・1点）

2012-041：コダイアマモ *Archaeozostera* sp.／1／徳島

## I - 4 その他受入資料

### 【自然史系資料】(1件・1点)

2012-037 : デスモスチルス歌登第3標本(頭骨)レプリカ / 1 / 受入時の記録なしのため新規受入

### 【自然系資料】(2件・2点)

2012-012 : クジラ類椎骨(胸椎) / 1 / 受入時の記録なしのため新規受入

2012-004 : アカウミガメ骨格(分離) / 1 / 受入時の記録なしのため新規受入

## II 野外調査活動

### 【現地調査】 38回(恐竜化石現地確認含む)

うち、外部研究者(研)と合同調査: 1回

千歳化石会(千)と合同調査: 1回

4月: 5、25、27、29(千)

5月: 11、15、16、17、18、22、25、29、30、31

6月: 6、8、13、14、20、21、27(研)、28

7月: 4、5、11、18

9月: 28

10月: 4、5、12、19、24、25、26、31

11月: 15、16、22

## III 新規登録資料

登録番号: 資料名/受入番号/寄贈(採集)者名(敬称略)

### 【自然史系資料(HMG)】(化石・地質): 35点

HMG-1590 : アンモナイト *Pachydiscus gracilis* / 2008-031 / 穂別博物館協力会・穂別博物館

HMG-1591 : 長頸竜亜目(科属種未定) / 2012-003 / 寺下明広

HMG-1592 : アンモナイト *Gaudryceras* sp. / 2012-002 / 西村智弘

HMG-1593 : イノセラムス *Inoceramus hobetsensis hobetensis* / 1982-197 / 荒木新太郎

HMG-1594 : アンモナイト *Anagaudryceras* sp. / 2012-007 / 大和治生

HMG-1595 : アンモナイト *Anagaudryceras* sp. / 2012-008 / 大和治生

HMG-1596 : アンモナイト *Anagaudryceras* sp. / 2012-009 / 大和治生

HMG-1597 : アンモナイト *Anagaudryceras* sp. / 2012-010 / 西村智弘

HMG-1598 : アンモナイト *Solenoceras* sp. / 2012-011 / 大和治生

HMG-1599 : アンモナイト *Tetragonites popetensis* / 1995-001 / 穂別博物館協力会・穂別博物館

HMG-1600 : アンモナイト *Tanabeceras yezoense* / 2012-023 / 伊豆倉正隆

HMG-1601 : アンモナイト *Tanabeceras yezoense* / 2012-024 / 伊豆倉正隆

HMG-1602 : アンモナイト *Pteropuzosia kawashitai* / 2012-032 / 岡島孝義

HMG-1603 : 珪化木 / 2012-033 / 穂別博物館

HMG-1604 : クジラ(科属種未定) / 2011-018 / 日高町門別図書館郷土資料館

HMG-1605 : 爬虫類化石? / 2012-016 / 穂別博物館

HMG-1606 : 軟骨魚類 / 2011-060 / 西村智弘

HMG-1607 : デスモスチルス頭骨レプリカ(歌登第3標本) / 2012-037 / 入手経緯不明

HMG-1608 : 脊椎動物化石 / 2012-038 / 嶋原崇之

HMG-1609 : イノセラムス *Sphenoceras schmidtii* / 2012-039 / 増田進・佐藤たまき・寺下明広・田原健太郎

HMG-1610 : イノセラムス *Sphenoceras schmidtii* / 2012-039 / 増田進・佐藤たまき・寺下明広・田原健太郎

HMG-1611 : アンモナイト *Tetragonites popetensis* / 2012-039 / 増田進・佐藤たまき・寺下明広・田原健太郎

HMG-1612 : アンモナイト *Tetragonites popetensis* / 2012-039 / 増田進・佐藤たまき・寺下明広・田原健太郎

HMG-1613 : アンモナイト *Zelandites kawanoi* / 2012-039 / 増田進・佐藤たまき・寺下明広・田原健太郎

HMG-1614 : アンモナイト *Canadoceras* sp. / 2012-039 / 増田進・佐藤たまき・寺下明広・田原健太郎

HMG-1615 : アンモナイト *Canadoceras* sp. / 2012-039 / 増田進・佐藤たまき・寺下明広・田原健太郎

HMG-1616 : アンモナイト *Canadoceras* sp. / 2012-039 / 増田進・佐藤たまき・寺下明広・田原健太郎

HMG-1617 : イノセラムス *Sphenoceras schmidtii* / 2012-039 / 増田進・佐藤たまき・寺下明広・田原健太郎

HMG-1618 : イノセラムス *Sphenoceras schmidtii* / 2012-039 / 増田進・佐藤たまき・寺下明広・田原健太郎

HMG-1619 : イノセラムス *Sphenoceras schmidtii* / 2012-039 / 増田進・佐藤たまき・寺下明広・田原健太郎

HMG-1620 : アンモナイト *Tetragonites popetensis* / 2012-



039 / 増田進・佐藤たまき・寺下明広・田原健太郎  
HMG-1621 : アンモナイト *Baculites* sp. / 2012-039 /  
増田進・佐藤たまき・寺下明広・田原健太郎  
HMG-1622 : アンモナイト *Canadoceras* sp. / 2012-039  
/ 増田進・佐藤たまき・寺下明広・田原健太郎  
HMG-1623 : アンモナイト *Damesites ainuanus* / 2012-  
040 / 伊豆倉正隆  
HMG-1624 : コダイアマモ *Archaeozostera* sp. / 2012-  
041 / 徳島県立博物館 (交換資料)

**【自然系資料 (HMB)】** (現生生物) : 2点

HMB-166 : アカウミガメ *Caretta caretta* / 2012-004 /  
受入経緯不明  
HMB-167 : クジラ (科属種未定) / 2012-012 / 受入  
経緯不明

**【人文系資料 (HMC)】** (生活・歴史等) : 0点

#### IV 資料の貸出・提供

**【研究】**

HMG-366、HMG-367、HMG-1053、HMG-1054、  
HMG-1055 (ウミガメ化石5点) : 平山廉 (早稲田大  
学) <平成6(1994)年8月17日-平成25(2013)年  
3月31日>  
HMG-1063、HMG-1064 (ウミガメ化石2点) : 平山廉  
博士 (早稲田大学) <平成7(1995)年5月11日-  
平成25(2013)年3月31日>  
HMG-1443、HMG-1444 (カサガイ付きアンモナイト2  
点) : 加瀬友喜 (国立科学博物館) <平成21(2009)  
年7月9日-平成25(2013)年3月31日>  
HMG-0014、HMG-0016、2011-004 (アンモナイト3点) :  
重田康成 (国立科学博物館) <平成23(2011)年6  
月1日-平成25(2013)年5月31日>  
HMG-1573 (アンモナイト1点) : 重田康成 (国立科学  
博物館) <平成23(2011)年9月6日-平成24(2012)  
年9月5日>  
HMG-0399 (アンモナイト1点) : 前田晴良 (京都大学)  
<平成23(2011)年10月17日-平成25(2013)年3  
月31日>  
HMG-0357 (長頸竜化石1点) : 佐藤たまき (東京学芸  
大学) <平成23(2011)年11月25日-平成25(2013)  
年3月31日>

**【展示】**

HMG-842 (アンモナイト)・HMG-883 (イノセラムス) :  
穂別地球体験館 <平成7(1995)年4月1日-平成  
25(2013)年3月31日>

HMB-2、3、4、7、9、11、12、17、19、21、22、25、  
26、29、30、40、41、43、98、99 (剥製標本20点) :  
むかわ町立穂別小学校 <平成7(1995)年4月1日-  
平成25(2013)年3月31日>

HMB-36、HMB-47 (剥製標本2点)、HMC-2797、  
HMC-2798、HMC-2799、HMC-2821 (ジオラマ4点) :  
むかわ町立穂別小学校 <平成8(1996)年6月14日-  
平成25(2013)年3月31日>

HMG-12 レプリカ (モササウルス・ホベツエンシス模  
式標本 : 右前肢), HMG-1476 (メソダーモケリス :  
背甲部分) : 読売新聞大阪本社主催「OCEAN! 海は  
モンスターでいっぱい」 <平成23(2011)年7月1  
日-平成24(2012)年6月22日>

HMG-1056 レプリカ (アノマロケリス模式標本),  
HMG-12 レプリカ (モササウルス・ホベツエンシス  
模式標本 : 右前肢), モササウルス類復元模型 : 北  
海道新聞社主催「黄河大恐竜展」 <平成24(2012)  
年6月26日-8月30日>

HMG-1056 レプリカ (アノマロケリス模式標本),  
HMG-365 (メソダーモケリス : 肩甲骨・鳥口骨),  
HMG-369 レプリカ (メソダーモケリス : 上腕骨),  
HMG-1476 (メソダーモケリス : 背甲部分), HMB-  
79 (現生アオウミガメ : 全身組立骨格), HMB-80 (現  
生マタマタ : 全身組立骨格), HMB-88 (現生アオウ  
ミガメ : 背甲) 滝川市美術自然史館 <平成24(2012)  
年6月27日-9月14日>

HMG-0579、HMG-0623、HMG-0626、HMG-1305、  
HMG-1405、HMG-1406 (アンモナイト6点)、ティ  
ロサウルス生体復元模型 (当館展示室) 写真 : 北海  
道開拓記念館 <平成24(2012)年6月29日-10月17  
日>

**【教育活動等】**

HMC-2507、HMC-2990 (林業用鋸2点) : むかわ町経  
済建設課林務G <平成24(2012)年7月13日>

**【出版・報道等】**

HMG-343 (デスモスチルス穂別標本) 写真 : 池田和子  
(著)「ジュゴン-海の暮らし、人とのかかわり」(平  
凡社新書646 : 平凡社) <平成24(2012)年5月20  
日許可>



### I 調査研究活動

#### 【穂別産恐竜化石発掘調査】

平成 15(2003) 年に堀田良幸氏（穂別在住）によって発見され、平成 23(2011) 年 9 月 20 日に小林快次准教授（北海道大学）によって恐竜化石であると断定された脊椎動物化石について、発掘調査のための現地確認と、道有林担当部署と申請手続きのための打ち合わせを行った。埋没している追加標本と現地の保全のために、今年度は公表を見送った。

平成 24(2012) 年 4 月

5 日 現地確認：穂別博物館

25 日 現地確認：穂別博物館

平成 24(2012) 年 5 月

15 日 現地確認：穂別博物館、北海道大学（小林快次准教授、藤田良治助教）、堀田良幸氏

25 日 現地確認：穂別博物館、北海道胆振総合振興局森林室（5名）

平成 24(2012) 年 7 月

6 日 打ち合わせ（北海道胆振総合振興局森林室：苫小牧市）：穂別博物館、森林室担当者

18 日 現地確認（申請範囲の立木の確認）：穂別博物館

平成 24(2012) 年 8 月

7 日 打ち合わせ（穂別博物館）：穂別博物館、森林室担当者

平成 24(2012) 年 9 月

26 日 打ち合わせ（森林室）：穂別博物館、森林室担当者

27 日 打ち合わせ（北海道胆振総合振興局：室蘭市）：穂別博物館、森林室担当者、振興局林務課担当者

平成 25(2013) 年 2 月

20 日 打ち合わせ（森林室）：穂別博物館、森林室担当者

平成 25(2013) 年 3 月

11 日 打ち合わせ（森林室）：穂別博物館、森林室担当者

26 日 打ち合わせ（北海道胆振総合振興局）：穂別博物館、森林室担当者、振興局林務課担当者

#### 【むかわ町モササウルス類化石複製品作成委託】

平成 21(2009) 年に西村智弘（穂別博物館）によっ

て町内にて発見された、世界的にも保存状態の良好なモササウルス類の頭骨化石について、研究や普及活動に活用するためにレプリカを作成する。

対象：穂別博物館所蔵モササウルス類第 10 標本

委託先：特定非営利活動法人 あしよろの化石と自然（足寄動物化石博物館指定管理者：足寄町）

期間：平成 24(2012) 年 12 月 25 日～平成 25(2013) 年 3 月 6 日

監修：小西卓哉博士（カナダ アルバータ大学 非常勤講師）

製作：アラン・リンドウ Allan Lindoe 技師（カナダ アルバータ大学 Michael Caldwell 研究室所属）

#### 【研究者等の来館】

平成 24(2012) 年 4 月

12 日 添田雄二（北海道開拓記念館 学芸員）：収蔵資料調査（アンモナイト）

平成 24(2012) 年 5 月

15 日 小林快次（北海道大学総合博物館 准教授）：恐竜化石調査・現地確認

平成 24(2012) 年 6 月

14 日 丸山啓志（京都大学大学院）：化石標本の比較研究（クジラ化石）

27 日 楠橋直（愛媛大学 助教）：野外地質調査

平成 24(2012) 年 7 月

17 日 重田康成（国立科学博物館 主幹研究員）：野外地質調査

25 日 安藤達郎（足寄動物化石博物館）：収蔵資料調査（サンゴ化石）

31 日 加藤誠（北海道大学 名誉教授）：文献寄贈

平成 24(2012) 年 8 月

11 日～12 日 山下修平・平野健幸（静岡大学理学研究科地球科学専攻）：収蔵資料調査（アンモナイト）

15 日 野村真一（千葉県立天羽高校）：収蔵資料調査

23 日～9 月 7 日 唐沢與希（京都大学大学院）：収蔵資料調査（アンモナイト）・野外地質調査

平成 24(2012) 年 11 月

22 日～23 日 佐藤たまき（東京学芸大学 准教授）：収蔵資料調査（長頸竜 HMG-1067）

## II 刊 行 物

### 【むかわ町立穂別博物館研究報告】

ISSN 1882-5249

第28号、12頁：平成25(2013)年3月31日発行

<掲載内容>

Yasunari Shigeta and Masataka Izukura: The earliest Cenomanian ammonoid *Tanabecereras yezoense* (Shigeta) from the Hobetsu area, Hokkaido. [重田康成(国立科学博物館)・伊豆倉正隆(札幌市)：北海道穂別地域から産出したセノマニアン最前期アンモナイト *Tanabecereras yezoense* (Shigeta)]

増田進・佐藤たまき(東京学芸大学)・西村智弘(穂別博物館)：北海道平取町貫気別川の上部白亜系より産出した首長竜化石。

## III 論文発表

前田晴良・上田直人・西村智弘・田中源吾・野村真一・松岡廣繁，佐川地域の七良谷層から最上部ジュラ系アンモノイド化石の産出。地質学雑誌，第118巻，11号，p.741-747。(共同研究)

Gengo Tanaka, Teruo Ono, Tomohiro Nishimura and Haruyoshi Maeda, Middle Permian ostracods from Akasaka Limestone, Gifu Prefecture, central Japan. Paleontological Research, vol. 16, no4, p. 289-306. [田中源吾・小野輝雄・西村智弘・前田晴良，岐阜県赤坂石灰岩から産出したペルム紀中期の介形虫化石群。パレオントロジカル・リサーチ，第16巻，4号，p.289-306] (共同研究)

## IV 学会発表

増田進・佐藤たまき・西村智弘，北海道平取町の上部白亜系より産出したポリコティルス科(爬虫綱，首長竜亜目)化石，日本古生物学会2012年総会講演予稿集，P08，2012年7月，名古屋大学・名古屋大学博物館(共同研究)

西村智弘，博物館アウトリーチ活動にむけた本邦白亜紀イノセラムス科二枚貝のキャラクター「いのせらたん」の制作(ポスター発表)。日本古生物学会2013年例会講演予稿集，P45，2013年1月，横浜国

立大学・独立行政法人海洋研究開発機構

前田晴良・上田直人・西村智弘・田中源吾・野村真一・松岡廣繁，佐川地域の七良谷層から最上部ジュラ系アンモノイド化石の産出。日本古生物学会2013年例会講演予稿集，C06，2013年1月，横浜国立大学・独立行政法人海洋研究開発機構(共同研究)

## V 学会・大会・研修会等への参加

### 【博物館協会等の大会・研修会等】

<北海道博物館協会>

(欠席)

<日胆地区博物館等連絡協議会>

館長会議及び拡大役員会(苫小牧市)

平成25年2月5日：櫻井学芸員出席(事務局)

<ミュージアムマネジメント学会>

(欠席)

## VI 協力団体との連携

### 【穂別博物館協力会】

学習用地水洗：6月15日(4名参加)

穂別小学校4年生化石学習補助：6月22日(2名参加)

化石採集会(第2回)補助：6月23日(2名参加)

化石採集会(第4回)補助：9月29日(4名参加)

穂別高校1年生化石学習補助：10月18日(2名参加)

寄贈資料：1件・30点

### 【千歳化石会】

野外調査：1回(4月29日)

寄贈資料：1件・1点

I 行事等

【博物館協議会】

平成 25(2013) 年 2 月 8 日：6 名出席

【文化財審議会】

平成 24(2012) 年 7 月 3 日：第 1 回文化財審議会（町指定文化財について）

【実習等の受入】

平成 24(2012) 年 6 月 12-14 日：穂別高校インターンシップ（小 2）

【協力】

平成 24(2012) 年 9 月 16 日：「田んぼ de ミュージカル 実行委員会」（撮影協力）

【交流人口拡大事業（協力）】

＜ドラ割「夕張・むかわ・占冠 立ち寄りパス」＞

ネクスコ東日本による、ETC 搭載の普通車・軽自動車限定サービス。事前申込により、指定範囲内の高速道路インターチェンジで乗り降りしても直通料金で利用でき、合わせて近隣市町村内の各施設・商店にて優待が受けられる。当館は入館料の減額を行った。

実施期間：平成 24(2012) 年 4 月 28 日～10 月 28 日の土・日・祝日。

＜3 施設パスポート券＞

むかわ町 4 施設共同利用協議会による、町内 3 施設（穂別地球体験館、穂別博物館、樹海温泉はくあ）の共通パスポート券の発行。むかわ町内への交流人口の誘導と各施設の宣伝、利用者の新たな掘り起こしを図ることが目的。

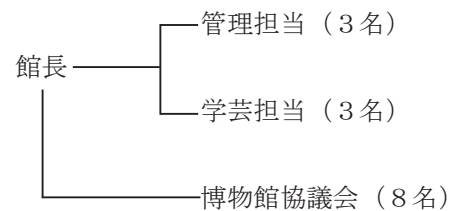
実施期間：平成 24(2012) 年 5 月 10 日～7 月 20 日、8 月 20 日～11 月 25 日。

＜ロックンロード 274＞

樹海ロード広域連携協議会（事務局：夕張市）による、国道 274 号沿いの 4 市町村（夕張市、むかわ町、占冠村、日高町）内の各施設・商店にて優待を受けられるリストバンドの製作・販売。交流人口の拡大が目的。当館は入館料の減額で対応した。

実施期間：平成 24(2012) 年 7 月 20 日～平成 25(2013) 年 3 月 31 日。

II 組 織



【博物館協議会委員】＜平成 24(2012) 年度＞

任期：平成 24(2012) 年 4 月 1 日 - 平成 25(2013) 年 3 月 31 日

会 長 梅津讓一

副会長 佐藤稔

委 員 内海由紀江

委 員 鎌田政博

委 員 菊地啓允

委 員 小石川武美

委 員 高橋義道

委 員 只野繁

【博物館職員】＜平成 24(2012) 年度＞

＜館 長＞ 今莊光男

＜管理担当＞

統括主査 中井 学

臨時職員 早瀬千佳

臨時職員 多村こゆる

＜学芸担当＞

学芸員 櫻井和彦

普及員（嘱託職員） 西村智弘

学芸補助員（臨時職員） 下山正美

III 刊行物

【むかわ町立穂別博物館館報】

ISSN 1882-5230

第 29 号：平成 23(2011) 年度版

19 頁、平成 24(2012) 年 9 月発行

### Ⅲ 利用状況

#### 【常設展示観覧者】

平成 24(2012) 年 4 月～平成 25(2013) 年 3 月

月	一般	学生	小計	幼児	合計	開館日
4	511	229	740	120	860	26
5	1,402	582	1,984	272	2,256	25
6	581	268	849	66	915	26
7	679	301	980	117	1,097	31
8	1,554	779	2,333	312	2,645	31
9	608	212	820	153	973	26
10	438	177	615	205	820	25
11	300	109	409	44	453	26
12	18	9	27	3	30	24
1	48	76	124	25	149	21
2	37	33	70	15	85	23
3	123	42	165	43	208	26
計	6,299	2,817	9,116	1,375	10,491	310

(単位：人・日)

#### 【博物館特定入館日】

##### 【博物館開館記念日関連事業】

7 月 20 日の開館記念日に関連して、平成 24(2012) 年 7 月 20 日(金)～7 月 26 日(木)の 7 日間を町民無料入館の日とした。

##### 【国際博物館の日】

国際博物館会議(イコム、ICOM)のモスクワ大会(1977 年)にて制定され、日本では平成 14 年度から日本博物館協会とイコム日本委員会が協力して記念事業が展開されることとなった「国際博物館の日」(5 月 18 日)の趣旨に賛同し、当日を町民無料入館の日とした。

##### 【博物館特定入館日に伴う町民無料入館】

一般：高校生より上、学生：小学生～高校生

実施日	行事名	一般	学生	計
12.5.18	国際博物館の日	1	1	2
7.20-26	博物館開館記念日	3	1	4
9.17	敬老の日	4	3	7
11.3	文化の日	1	1	2
11.23	勤労感謝の日	0	0	0
13.1.14	成人の日	1	1	2
計	12 日	10	7	17

(単位：人)

### 【学校週五日制関連事業】

＜町内児童生徒に対する入館料減免＞

学校完全週五日制及び「総合学習」の導入に合わせ、むかわ町内児童生徒並びに引率者については無料観覧とした。

平成 24 年度の利用者数：80 人(個人見学のみ)

### Ⅳ 歳入

区 分		有料入館者数	使用料
一般	個人	3,373	1,012
	団体	625	125
	割引	1,949	390
学生	個人	1,221	122
	団体	530	27
	割引	725	36
小 計		8,423	1,712
緒収入	物品販売代		10
	体験学習料		16
小 計			26
合 計			1,738

(単位：人・千円)

### Ⅴ 歳出

費 目	金 額
報 酬	2,088
共 済 費	622
賃 金	3,015
報 償 費	100
旅 費	81
需 用 費	5,218
役 務 費	401
委 託 料	2,819
使用料及び賃借料	665
負担金補助及び交付金	35
備 品 購 入 費	499
博 物 館 費 合 計	15,543

(単位：千円)

## VI 利用案内

### 【開館時間】

午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

### 【休館日】

- ・毎週月曜日。
- ・国民の祝日の翌日。ただし、その翌日が土曜日および日曜日に当たるときは月曜日とし、月曜日が国民の祝日又はその翌日に当たるときは火曜日及び水曜日とする。
- ・12月31日-1月5日。
- \* 7、8月は無休。

### 【観覧料】

	一般	学生
個人	300円	100円
団体	200円	50円
割引	100円	無料

一般：高校生より上

学生：小学生・中学生・高校生

幼児（未就学児童）は無料（要大人の付添い）

団体：10人以上

割引：穂別地球体験館（体験館）との共通利用割引（両施設を見学する場合の割引制度。体験館に先に入館した場合、この料金が適用される。当館を先に入館した場合は通常料金で、体験館の入館料が割引される。）

### 【減免】

「（むかわ町立）博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない（むかわ町立博物館設置条例、第4条）」が「（むかわ町）教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる（同条例、第5号）」。減免は、教育・研究・福祉を目的とし、以下に従う。

むかわ町立博物館施行規則第4条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

（教育目的）

1) むかわ町内の小・中学校及び高等学校の児童生徒と引率者が教育を目的として入館する場合。

（研究目的）

2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・研究のため入館する場合。

（福祉目的）

3) 老人福祉法（昭和38年法律第133号）第15条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

4) 知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）第19条に規定する町内の知的障害者援護施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

（公益目的）

5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に館長が必要と認める場合。

## むかわ町立穂別博物館館報

第30号

平成24（2012）年度版

発行 2014年3月

発行者 むかわ町立穂別博物館

〒054-0211

北海道勇払郡むかわ町穂別80番地の6

TEL/FAX (0145) 45-3141